

第6回 夏季セミナー

数の基礎学習「合成・分解」の学習

8月26日（土）に、第6回夏季セミナーを越谷市中央市民会館で行いました。今回のテーマは数の基礎学習「合成・分解」です。講師は「つばき教育研究所」理事長の宮城武久です。初めに、量概念の形成と、たし算、ひき算、繰り上がり、繰り下がりの計算ができるようになるための基礎学習として「数えこむ学習」と「合成・分解の学習」が最も重要であるという話がありました。

「数えこむ学習」の数え方のステップは以下の通りです。

- ① 目（見ながら）と手（指さししながら）と口（数詞を言いながら）で数える
- ② 目（見ながら）と口（数詞を言いながら）で数える
- ③ 目（見ながら）と手（指さししながら）で数える
- ④ 目（見ながら）だけで数える

上記の学習を十分行った後に「合成・分解」の学習に入ります。

「合成・分解の学習」のステップは以下の通りです。

（1）左辺の数量と右辺の数量を同じにする学習

- ① 必要量（左辺と同じ数量）の呈示
- ② 余分量（左辺よりも多い数量）の呈示

（2）右辺に、左辺よりも少ない数量を呈示し、左辺の数量と同じにする学習

- ① 必要量（左辺と同じにするために必要な数量）の呈示
- ② 余分量（左辺と同じにするために必要な数量よりも多い数量）の呈示

2人1組のペアになったの演習では、学習時の姿勢、間違えさせないための言葉かけのタイミング、教材の呈示や撤去のタイミング、ことばかけのステップなど、細やかな呈示方法をたくさん学ぶことができました。以下は参加者の方の感想です。

《感想》

いろいろなことを考えさせられました。段階を追うことの大切さを再認識しました。ありがとうございました。

保護者

演習で子どもの目や手の動きを見ながら呈示し、ことばかけを行う大切さを学習できました。不用意な言葉かけや動きをしないように気をつけたいと思います。 特別支援学校教諭

*今年度夏季セミナーにご参加いただきありがとうございました。

